

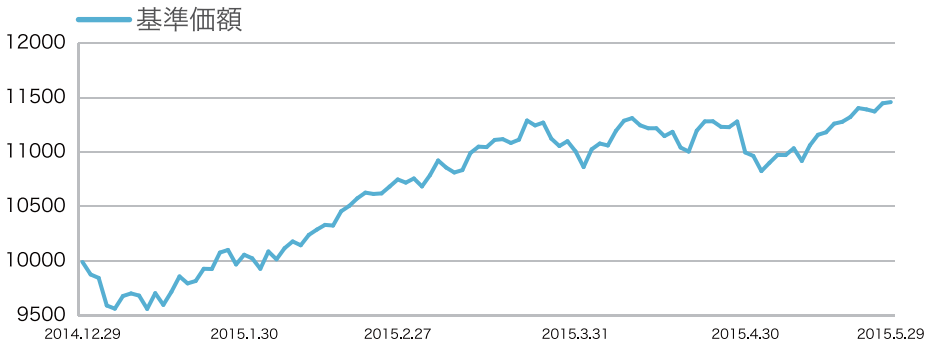


# コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



## ● 基準価額の推移



## ● ファンドのデータ

(2015年5月29日付)

基準価額	11,458円
純資産総額	244百万円
受益権総口数	213百万口

## ● 基準価額の騰落率

(2015年5月29日付)

1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	設定来
4.20%	4.11%	6.61%	14.58%

## ● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.9%	0.3%
静岡銀行株式	8.4%	▲0.2%
現金等・その他	▲0.3%	▲0.1%
構成銘柄	31社	±0社

## ● 分配実績

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。なお、初回決算は2015年12月18日の予定です。

## ● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30+しずぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。5月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.9%、静岡銀行株式8.4%です。当ファンドの月間リターンは4.20%の上昇となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは4.43%の上昇、静岡銀行株式は2.87%の上昇となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

## ● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

### ◎5月の組入銘柄(組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

5月末の組入銘柄は、前月と同様に30銘柄となりました。「投資委員会」において、運用部は前月に引き続き全売却候補1銘柄を提案しました。提案銘柄について活発な議論が行われましたが、継続審議となっています。

### ◎5月のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

5月末の株式組入比率は96.9%となり、残りの3.1%程度は現金などを保有しています。月を通して98%を中心にプラスマイナス1%程度の範囲を維持しました。

### ◎5月の組入上位10銘柄と投資行動

5月の組入上位10銘柄は、「日東電工」、「ダイキン工業」、「資生堂」、「クボタ」、「シスメックス」、「マキタ」、「デンソー」、「コマツ」、「東京エレクトロン」、「ベネッセホールディングス」です。主な投資行動として、大幅な株価下落により組入比率が低下した「ベネッセホールディングス」を中心に買い付け、相対的に組入比率が高くなった複数銘柄を少しずつ売却しました。同社は2015年3月期決算が会社計画を大幅に下回る純損失(最終赤字)となったことに加え、2016年3月期会社計画の最終損益が市場予想を大幅に下回ったことなどから、月間リターンが13.20%の下落となりました。このような投資行動の結果、当ファンドで保有する30銘柄の組入比率は最低3.1%~最大3.4%の範囲に収めています。

### ◎5月のファンド月間リターンとその要因

5月のファンド月間リターンは4.43%の上昇となりました。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは5.08%の上昇となり、当ファンドはTOPIXを下回る月間リターンとなりました。この要因には、保有する30銘柄の内、17銘柄がTOPIXを下回る月間リターンとなったことなどが挙げられます。なお保有銘柄における月間リターン下位5銘柄は、ベネッセホールディングス(▲13.20%)、「ユニ・チャーム(▲8.89%)」、「ヤマトホールディングス(▲5.37%)」、「味の素(▲3.48%)」、「エーザイ(▲2.89%)」でした。

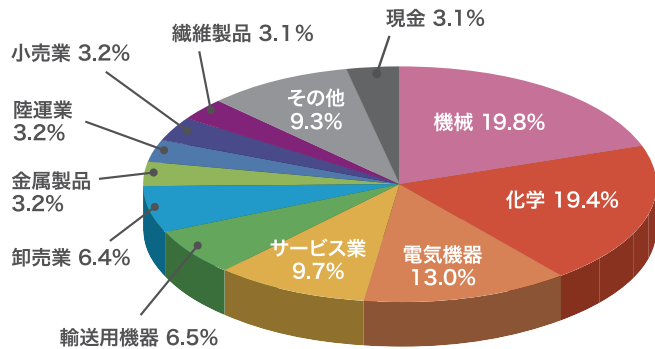
### ◎運用・調査体制について

是非、5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

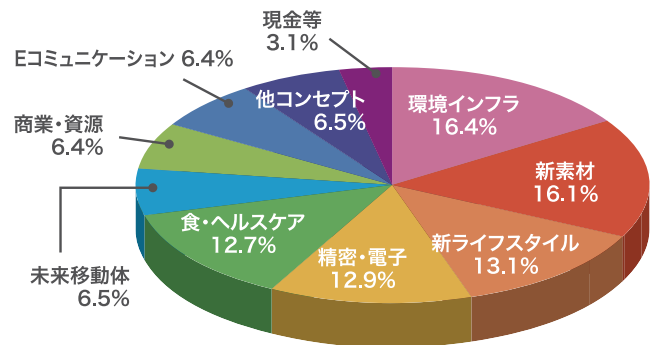
## ● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

### ◎業種別構成比



### ◎未来コンセプト別構成比

(2015年5月29日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

## ● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2015年5月29日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
日東電工 [6988]	化学	新素材	成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。
ダイキン工業 [6367]	機械	環境インフラ	世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメインテナンスを絡めた総合力も抜群です。
資生堂 [4911]	化学	新ライフスタイル	巨大市場の中国、アジアで認められた美の感性、アジア人の肌を知り尽くした技術、おもてなしの心(接客力)が成長の牽引力となっています。
クボタ [6326]	機械	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
シスメックス [6869]	電気機器	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
マキタ [6586]	機械	新ライフスタイル	リチウムイオン電池など、軽量・低振動で使用者の健康に配慮をした製品開発を行い、利用時間が長いプロ向けで高いシェアを獲得しています。ものづくりだけでなく、保守メンテナンス体制も充実しており、先進国では原則3日に対応可能な修理体制を構築しています。
デンソー [6902]	輸送用機器	未来移動体	1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となります。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込みです。
コマツ [6301]	機械	環境インフラ	多角化の失敗から学ぶ姿勢、キャピラーに並ぶ競争力、それを支えるコマツウエイ(文化)、建設機械をインターネットに繋ぐ新しいビジネスモデルが強みです。
東京エレクトロン [8035]	電気機器	精密・電子	「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信し、商社から出発、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫っています。経営はクレドの心温まるメッセージでけん引。愚直で本質的な挑戦を続けています。
ベネッセHD [9783]	サービス業	教育・娯楽	日本の通信教育事業において、圧倒的なシェアを誇ります。国内教育事業で培った知恵を用い、海外展開(台湾、中国、韓国)と事業領域拡大(介護、語学)で、変化し続ける環境を乗り越えて成長を目指しています。

## ● 新規組入投資先

なし

## ● 今月のピック!

5月は日東電工の株価が4月末比で25.48%上昇と大幅に上昇しました。足元の業績好調に加え中長期の成長期待が高まったことが背景です。特に、決算電話説明会や会社説明会など決算イベントが開催された翌日に株価は4~5%上昇しました。今期は自動車材料が伸長する形でインダストリアルテープ部門の営業利益が大きく伸びる見込みです。自動車の軽量化の流れのなかで鋼板補強テープの欧米向け採用が増加していることや、海外工場の立ち上がりロス一巡が寄与します。

なお、株主総会後に独立社外取締役を1人増員する方向です。日立製作所で副社長などを歴任した八丁地氏が候補となります。日立製作所は事業ポートフォリオを組み替えて成長してきた経緯があります。日東電工が液晶関連中心から幅広く姿を変えていこうとするなか、日立製作所の過去の歴史から学ぶべきところがあるためです。6月後半の株主総会後は、独立社外取締役が3人となりガバナンスが一層強化される見通しです。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

## ● 企業との対話

### ◎5/30(土)、5/31(日)に大阪・名古屋で開催した6周年イベントの第2部「企業との対話」



ベネッセホールディングス 斎藤様



堀場製作所 上杉様

5/30(土)、5/31(日)に大阪・名古屋で開催した6周年イベントの第2部「企業との対話」では、大阪会場にてベネッセホールディングス様、名古屋では堀場製作所様にご登壇いただきました。

大阪ではベネッセホールディングスのIR課長斎藤和敬さんにご登壇頂きました。去年の漏えい事件の影響で、足下国内の教育ビジネスが大きく打撃を受け、世間の厳しい目にさらされている中ではありましたが、真摯に質問などにお答えいただきました。終了後のアンケートでは、斎藤様の真摯な姿勢から、「再建を期待しています」といった応援の言葉もたくさん頂戴いたしました。一方、投資先として不安は拭えない、というコメントを下さるお客様ももちろんいらっしゃいました。コモンズとしても、今後も対話を続けていきたいと思っております。

名古屋でご登壇くださった堀場製作所のIRチームマネージャーの上杉英太さんからは会社紹介に始まり、社是である「おもしろく、おかしく」という理念をどう事業運営の中で活かしていられるかというお話を頂きました。自動車排気ガス、半導体のウエーハ工程のマスクキングに必要なガス、血液検査の血球などの計測機器をBtoBで扱う企業ですので、一般消費者には正直なじみがないのが

現状です。ただ、京都発のベンチャー企業であり、現在はフランスやドイツの会社の買収を通じて、グローバル企業へと進化している“知る人ぞ知る”会社。終了後のアンケートには「こんなグローバル企業があるとは正直知りませんでした」「ぜひ、直接投資して応援しようと思います」などのうれしい声も頂戴しております。

おみやげは社是である“おもしろおかしく”が刻印されたドラ焼き。このドラ焼きに惚れたお客様も多かったようです。

いずれの会場でも企業との対話を通じ、コモンズ30ファンドがなぜその企業に投資をしているのか、そして企業と共に成長していきたいと考えていることがお伝えできたのではないかと考えています。

ベネッセホールディングス様、堀場製作所様、ありがとうございました。

マーケティング部 福本 美帆

## ●メディアに登場!

日付	掲載メディア	ニュース
5月1日	日経新聞	『「セル・イン・メイ」の5月 日本株は5分5分』で糸島がコメントしました
5月3日	日経ヴェリタス	<a href="#">巻頭特集「1.2兆円流入 子どもNISAが未来開く」で子どもトラストセミナーをご紹介いただきました</a>
5月11日	日経電子版	<a href="#">マネーブログカリスマの直言「中国インフラ銀がもたらした日米の蜜月」と題し渋澤が寄稿しました</a>
5月11日	日経電子版	『株、大幅高も物足りない業績 関心集める株主配分も焦点は「質」へ』で伊井がコメントしました
5月12日	BSジャパン	「Nikkeiモーニングプラス」に糸島が出演しました
5月13日	日経新聞	20面 M&I「教育費高校までは年収で」で子どもトラストセミナーをご紹介いただきました
5月13日	日経DUAL	<a href="#">渋澤健 チェンジメーカーの7つの感情 第5回「夫婦とは、愛の物語を一緒につくるための存在」が掲載されました</a>
5月15日	日経電子版	<a href="#">『株、波乱の5月?「達人」が目をつける次の投資先』で糸島がコメントしました</a>
5月15日	日経電子版	<a href="#">「株主還元強化は進んだか 市場関係者の見方」で糸島がコメントしました</a>
5月21日	日経新聞	18面スクランブル 「ニッチトップ買い進む」で糸島がコメントしました
5月22日	日経新聞	18面スクランブル 「電機株 ITバブル迫る」で糸島がコメントしました
5月22日	BSジャパン	「日経プラス10」に糸島が出演しました
5月25日	日経電子版	<a href="#">マネー底流潮流「堅調相場の支えか 郵政上場の思惑」で伊井がコメントしました</a>
5月27日	日経新聞	<a href="#">2面『真相深層 新規上場「質より量」で緩み』で糸島がコメントしました</a>

## ●ちょっといい話

### ◎日経平均2万円突入で、今、すべきこと

4月下旬に15年ぶりに2万円の台を超えてきた日経平均株価は、目標達成感というよりも2万円は通過点となる動きになってきました。では、こうした好調時はどうしたらいいのでしょうか?これは投資に限りませんが、調子の良い時ほど次の展開を想定して準備を怠らないことが大切です。セミナーで、「こんな時、どうされていますか?」と質問をすると、多くの方は、塩漬け(買値よりも大きく下がってしまい結果として長期に保有している状況)になっていた株や投信などが買値に近くなってきたり、利益が出るようになって「ホッとしている」と答える方が少なくありません。

しかし、こんな時こそ、次をにらんで手の内を改善しておくことが重要です。市場が下落してくると、高値のイメージが残っているので根拠なく「今度、戻ってきたら売ろう」と売り惜しみの気持ちが強くなり、さらに下落して損失が大きくなってしまふといよいよ心理的に売却は難しくなります。また、市場全体が好調なときは、経験豊かな優れたファンドマネジャーと経験の浅いファンドマネジャーの差がさほど出ません。しかし、好調が永遠に続かないことも確か。では、何をしたらいいのか?といえば、この時期だからこそ、商品の見直しと入れ替えを積極的に進める時期だと考えています。単に市場に追随して価格が上がってきただけの株や商品だったら、思い切って売却するべきでしょう。そして、その資金で価値あるよい商品に、今のうちに入れ替えておくことが大切です。コモンズ30+しずぎんファンドの主要投資対象であるコモンズ30マザーファンドは、日本を代表する超優良な企業で構成されており、下落時に下値抵抗があることが知られています。当ファンドは、この2カ月くらいは市場に対して地味な動きですが、だからこそ次の展開では活躍してくれるはず。価値ある商品として皆さまのご期待に応えて参ります。



コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 伊井 哲朗

## ● コモンズ流投資判断(コモンズ30マザーファンド)

### 「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聡	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

### 「投資先選びのプロセス」



## ● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

## ● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ● お申込みメモ

信託設定日	平成26年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

## ● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	